

第255回 番組審議会

1. 日 時 平成28年9月13日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 10名
出席委員数 8名 (欠席委員数 2名)

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
九萬原 敏巳 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
久慈 浩介
斎藤 純
菅原 正二
八木橋 伸之

○ 会社側出席者 (8名)

藤澤 利憲 (代表取締役社長)
小原 忍 (取締役副社長)
藤原 銀司 (常務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
工藤 浩 (取締役東京支社長)
高嶋 昇 (取締役営業編成局長)
工藤 哲人 (報道制作部主任)
土川 孝道 (報道制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『フィンランドで見つけたBUSHI DO～新渡戸稲造と平和の島～』

平成28年 7月30日(土) 14:00～14:55

5. 議事概要

今回は、7月30日放送の「フィンランドで見つけたBUSHI DO～新渡戸稲造と平和の島～」を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ報道制作部 工藤プロデューサーからの説明

・この番組は、新渡戸稲造の足跡を辿る企画の第4作。2012年に生誕150年を機にほぼ毎年1本制作し今回は来年建国100年を迎えるフィンランドが舞台。新渡戸稲造だけではなく、建国を承認したのが岩手県出身の原敬内閣であり、初代駐日公使ラムステッドが宮沢賢治と深い交流をしているなど、岩手とフィンランドと交流があったことがわかった。

・前3作は、新渡戸の足跡を辿る本格的な内容だったが、今回は新渡戸稲造を知らない人にも見てもらえるようフィンランドの美しい景色、面白いものを紹介した。案内役は、青森県出身の女優・松本莉緒さん。松本さん自ら出演したいと熱烈な話を頂いて起用した。

●岩手めんこいテレビ報道制作部 土川ディレクターからの説明

・前作の台湾編から新渡戸の足跡を辿るシリーズが始まったが、実は新渡戸はフィンランドに行っていない、どのように番組を作ればいいのか相当悩んだ。フィンランドと新渡戸の関係を辿りつつフィンランドに行ってみたいと思ってもらえる番組作りをすることにした。

・見やすく、分り易くを念頭にスーパーも小さい文字をたくさん並べるのではなく、なるべく大きめにスーパーの数を減らし、それでも済むような編集をした。これまでの新渡戸シリーズと大分テイストが変わったが、周りに「本当にきれいだった。フィンランドに行ってみたい」と言ってくれる人がたくさんいたので、番組を作って良かったと思っている。

●出席した委員からの意見

- ・肩透かしを食らったようで、いつになったら武士道が出てくるのかと思って見ていた。
- ・「フィンランドに行ってほしい」ということだったが、実際にどのようにして行くのか紹介が無かったので、そこがあれば良かったと思う。
- ・番組を見てフィンランドに行きたいと思ったので、そういう意図は当たったのではないかと。
- ・旅番組になっている部分のウエイトが大きく、新渡戸稲造をこじつけたように感じ、旅番組の色合いが強すぎる気がする。
- ・新渡戸稲造は、フィンランドにまで影響を与えてあらためてすごいと思った。
- ・番組の中心を何にするのか悩んだという話があったが、見ていてまさにそういう感じがした。旅番組として極めて成功していると思うが、新渡戸ものとしては成功しているかどうかは分からない。
- ・新渡戸裁定自体は、素晴らしいという評価もあるし、反対説もある。良い面も悪い面も公平に描いていった方がいいのではないかと。
- ・日本語の上手なフィンランド人をよく見つけた。自分の言葉で話していて心情も分った。
- ・どういう視聴者を想定したのかと疑問を持った。過去のスイス編、台湾編が記憶に鮮明だったので今回も歴史的な経緯を辿ることを期待したが、フィンランド旅紀行といった内容だった。
- ・オークランド諸島と新渡戸裁定なるものの位置づけ、その重さなどを浮き立たせるような作りにすれば、そこに骨組みが1本通ったのではないかと。

・リポーターの選択も、フィンランド紀行であれば良いけれど、新渡戸の足跡を辿るのであればちょっとどうかなと思った。

・新渡戸稲造の初級者が見ると、武士道がどこから出てくるのかという点を除けば、フィンランドの魅力、そして新渡戸稲造の功績、歴史的背景も知ることができ楽しく視聴できた。

・疑問が浮かぶと次に答えが出てきて最後に全部疑問が解けたので、非常にスッキリと見ることができた。

・新渡戸裁定に持ち込むまでの困難な課題、ハードルの高さといった部分にもう少しズームインできると良かった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成28年9月14日（水） 産経新聞 東北版

※平成28年9月24日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成28年10月11日（火）12時より 当会場にて開催予定です。